

町内会だより

第174号 2016. 11. 25
東栄今本町内会連合会
編集 総務・広報常任委員会
電話番号 97-8644



豊かで明るい

安心・安全な地域づくり

(防災防犯活動の推進と環境美化の確立)

—たがいに助け合い、協力し合って地域の輪を広げよう—



小学生お茶教室
(白山神社社務所)

◎ ふれあい運動会

10月23日(日) 午前中 北部小学校

参加者募集の労をとっていただいた組長・班長・子ども会・老人会の皆様のご苦勞もあって、約1200人の皆さんが集まっていたさき、大盛会となりました。

新体育館の前で三世代の皆さんが、走り・飛び・引っぱるなど懸命の競技が続く。とくに上の二世代、端から見て、翌日の筋肉痛が心配になるほど。当日最後の競技、こども対抗リレーでは、三世代みんな燃えました。



◎ ゴミステーションを良くしたい

生活すればゴミが出る。ゴミを減らす努力は各家で引き続き実施するとして、スムーズな行政回収を願う視点から、ゴミステーションの実情を見てみましょう。町内会はゴミの課題を少しでも解決したいと考えています。

課題

- ステーションあたりの利用者数、1戸から70戸以上
利用戸数のばらつきが顕在化しています。利用者が複数の号組にまたがっていて、遠距離の利用者もある現状です。
- 清掃当番表、戸別番号の並びと回覧順の不具合
転入者には町内会入会時、ステーションの戸別利用番号を付与して清掃当番表に載せています。この場合、末の番号または欠番を使用しますが、戸別番号の並び順と回覧順に不都合が生じます。また号組がまたがっている場合は、清掃当番回覧版の移動事故が発生する大きな原因となっています。毎年、並び順と戸別番号を更新すればよいですが、返って混乱のもと。恒久的な戸別番号が望まれます。
- ゴミ置き場を持たないアパートの、特に単身者アパートでの清掃当番回覧版が滞りがち
- 不法投棄ゴミや分別不能放置ゴミが依然としてある。
- 別のステーションNo.の袋や無番号の袋が置かれている

解決のための方策

- 最小限、一つの号組に一つ以上のステーションを
号組のステーションとなれば、見知った人どうしの、自分たちのステーション意識が高まる。遠距離問題の解決と確実な清掃当番回覧版の動きが期待できる。
- 恒久的な戸別利用者番号案
丁目・番・号の数字をステーションNo.に続けて記す。
例えば、町内会事務所・今本町 1-3-22 はNo.-1322

ゴミステーションは、民地地権者から提供を受けたり、道路使用許可を得て、場を確保して皆で利用しているものです。自宅家先のゴミステーションくらいの思いでいたい。自分のゴミを処理して頂ける人がいることを忘れず、自分のゴミは自分の物。責任を持って処理に協力を。!

◎ 桜子ども会 子ども会便り

10月16日に行われた白山神社祭礼で、みこしを引いて町を練り歩きました。町の方に温かく見守って頂く中、子供たちは、「わっしょい! わっしょい!」と掛け声をかけながら、元気いっぱい神社に到着し、無事にお参りをすることが出来ました。12月には、クリスマス会があります。寒さに負けず、みんなでボーリングを楽しんできたいと思います!

